

**香川県保険医協会の行った「新型コロナウイルスの医療機関への影響」
緊急アンケートの結果について(最終集計)**

2020 年 3 月 19 日

香川県保険医協会

高松市旅籠町 14-8-1F

電話 087-802-1335

香川県保険医協会は、新型コロナ感染症拡大に伴うマスクや消毒用アルコール不足等について、医療現場で何
が起きているのかを把握し行政等に必要な提言を行う目的で、緊急 FAX アンケートを行いましたので、その最終集
計について報告を行います。(3 月 19 日に県政記者室に資料配布した内容の要約です)

1. 方法:開業会員 361 人(医科開業会員 175、歯科開業会員 186)に対して 3 月 12 日に FAX 送付し、
FAX で回答を得た。(回答は無記名)

2. 質問内容:(略)

3. 回答数:149 人(41.3%) 3 月 18 日 17 時最終

4. 結果

1)診療形態 医科診療所 74 歯科診療所 66 病院 7 病院歯科 2
(49.7%) (44.3%) (4.7%) (1.3%)

2)マスクについて

足りている 22 今は足りているが余裕無し 98 既に足りない 27 無回答 2
(14.8%) (65.8%) (18.1%) (1.3%)

3)消毒用アルコールについて

足りている 20 今は足りているが余裕無し 96 既に足りない 31 無回答 2
(13.4%) (64.4%) (20.8%) (1.3%)

4)ディスポ手袋について

足りている 52 今は足りているが余裕無し 88 既に足りない 7 無回答 2
(34.9%) (59.1%) (4.7%) (1.3%)

5)「臨時休校措置」により、職員の勤務等に影響がありますか？

影響ある 27 影響ない 113 無回答 9
(18.1%) (75.8%) (6.1%)

6)医師が必要と判断しても保健所が認めず、PCR 検査を実施できなかったことは？

実施できなかったことがある 9 実施できなかったことはない 21

7)自治体で、医療機関や高齢の住民にマスク等の配布はありましたか？

- ・東かがわ市やさぬき市では、1 医療機関あたり 100 枚の配布。
- ・善通寺市では、同一法人の訪問看護ステーションなど 4 事業所合わせて 300 枚。
- ・病児保育施設に市のこども課から少々の配布あり。
- ・自治体名は不明だが、①80 歳以上の高齢者に配布(各 5 枚)②医療機関に各 100 枚(病院は 200 枚)

協会理事会としてのコメント

- ・緊急の調査ではあったが、送付した会員数の 41.3%から回答が得られた。医療現場での、マスク不足や新型
コロナ感染症に対する対応についての切実な「叫び」ともとらえられる結果であった。

- ・マスク不足、消毒用アルコール不足は深刻である。2月12日に菅官房長官は記者会見で「毎週1億枚以上供給できる見通しができている」と述べたが、マスクは臨床現場には全く届いていないという実態が明らかになった。消毒用アルコールやディスポ手袋も不足している実態が明らかになった。
- ・臨時休校措置については数的には少ないがすでに影響がでている。なお、会員医療機関に勤務する職員の年齢・家族構成については調査対象でないため、職員に「臨時休校措置」の影響がでない可能性がある。
- ・医師が必要と判断しても、保健所が検査を行わなかったことは重要である。香川県でのPCR検査の実施数は2件/日前後で、1日の最大実施数は10件未満であり、検体数が多すぎて実施できなかったとは考えにくい。患者の状態を最もよく把握している医師の判断を尊重すべきである。
- ・後述する自由意見欄も、多岐にわたる分野に対して大変多くの意見が記載された。これも、当協会のアンケートではかつてないことであり、新型コロナウイルス感染の問題の深刻さが表れている。

アンケート結果を元にした協会理事会としての提言

1. 東かがわ市、さぬき市、善通寺市等では、医療機関に対してマスクの配布が行われており高く評価するものだが、数的に少ないものである。市町まかせではなく、県や国の対策が必要である。医療機関や介護事業者等に、マスクや消毒用アルコール、ディスポ手袋等の配布などの緊急対策が強く求められる。
- 3月17日に、県が国の施策の一環として、「在庫数量が1週間分を切る時期に」要望があれば、「診療所にあっては1箱(50枚)程度」の配布を行うとしたが、これでは必要量には程遠いというのが実情である。
2. 歯科医療機関では、患者との距離が大変短いために、頻回にマスクを交換する必要がある。歯科での実情を把握し、必要とされるマスクの確保を望むものである。
3. 消毒用アルコールやディスポ手袋等の不足も深刻である。手指の消毒は医療従事者、患者・利用者にも必要なもので、県、国が必要量を確保し配布することが必要である。
4. アンケートの自由意見欄にもあるが、コロナウイルス感染の検体採取時には、医師・看護師が感染の危険にさらされるために、防護具が必要であるが、一般医療機関には常備していない。また、それらのディスポ製品の準備は医療機関の負担になる。今後、感染が蔓延した時には大きな問題になるため、国や行政機関にはその準備が必要である。
5. 入院ベッドの確保も深刻である。折しも公的・公立病院病床削減が提起されているが、その方針を直ちに中止し必要な病床を確保する政策に転換すべきである。
6. 患者を診療した場合や医療従事者が感染した場合、2週間程度の休診を余儀なくされるが、その場合の補償を明確にすべきである。また、感染患者を診療した、あるいは職員が感染者になったり濃厚接触者として自宅待機になった場合に、その家族や、該当者以外の職員や家族に対していわれのない差別が横行している。こういうことがないように、県や関連する自治体は、正確な知識を普及し、対応策を明確にすべきである。

最後に 香川県保険医協会は、今後も継続的に会員の意見や地域の実情を把握し、問題提起を行っていきたいと考えている。

【臨時休校措置について】

- ・院内学童保育の臨時の実施
- ・歯みがき指導に行く予定だったが中止になった
- ・出勤できない。遅刻、早退がある
- ・現在勤務時間に影響はないがさらに、対象、期間が拡大すると勤務できない可能性あり
- ・子供を職場につれて来てもらっている

- ・パートの勤務時間を短くした(小学校休みのため)
- ・小学校低学年の家庭について勤務配慮した
- ・子供がいるスタッフは勤務時間が減り、それに伴い他のスタッフの負担が増えた

【国や行政への要望】

- ・保健所へ電話してからでないと受診できないと思い高熱(39~40℃)で4日間治療せず来院。肺炎で入院となりました
- ・小中高を休校にしたEBMを教えてほしい!!中国ではインフルの様な感染は認めていないはずだが?!
- ・歯科医療に対する風評被害に対応をお願いしたい!!
- ・マスクを医療機関、住民へ配布。感染者の病状、経過等の情報をもっとくわしく医師に公開して下さい
- ・医療機関従事者のリスク負担を考え、あらかじめ診療報酬を設けるべし。しっかりと。医療従事者にばかりリスクを負わせないように
- ・政府は感染症専門研究者の意見を重視して流行を阻止すべく強力に予防治療に努めて下さい
- ・市場が落ち着くまでマスク、アルコールを定期的に配布できるように各事業所に現状を聞いてほしい
- ・無症状のPCR陽性者を隔離するのは行き過ぎ。その職場を2週間閉鎖するのもやりすぎだと思う
- ・医師や医療機関のマスクが不足している。一体政府は何をを考えているのか。政府のコロナウイルス対策は後手後手にまわっている様です!
- ・クリニックでのPCR検査は不可能です。この事実を市民に徹底して広報してください
- ・マスクとグローブの安定供給がいつになるのか不安。マスク不足の場合どうすればよいかわからない
- ・患者さんの数は減少、早く病院、治療法を確立してほしい
- ・疑い例の検査をなぜやらないか。心配な場合まずかかりつけ医に相談となっているが、直接受診して対面で相談するのはやめて欲しい。まず電話で
- ・保健所の対応には驚いたし呆れた。しかし、考えれば当然で医療機関ではないのだから医療のことを分からなくても仕方ない。悪いのは仕事を押し付けた国である
- ・患者さんが激減しています
- ・PCRの適応を緩和して欲しい。適応が厳しく、実際に自分の身が不安です。当院の患者に自分が感染を広げないか……
- ・国は医療機関にマスクを優先的に配布すると言うが地方の無床診療所は切り捨てですか?
- ・オリンピックとかやってる場合じゃない
- ・防具等の供給を十分にしてほしい(今はないので十分にしていませんが、常に心配)
- ・公衆衛生的視点で対応をして頂きたい。患者数が減るなどの影響出ている。歯が悪いのに受診控えしている
- ・コロナを利用して緊急事態法など、危険な法律を作らないで欲しい。感染症の研究機関と余裕あるベッド配置に普段からしっかり予算をとって欲しい
- ・高齢者にマスクの配布を行政から行ってほしいと思う。自院では待合室に患者を待たせないよう、スムーズに入りしてもらう様にしています。(1人出たら1人入ってもらう等)
- ・ご本人の心配を解消するために、一般医療機関でも一般検査としてCOVID-19のPCR検査ができるようになったらよいと思います
- ・コロナ患者が来院しても患者の動線を分けることができない。コロナ患者が来院すると2週間休まないといけな